

『信濃の国は十州に境連ぬる国にして、』

吉田 哲矢
(副病院長 兼 健康管理センター長)

長野県に魅せられて

10月より、当・下伊那厚生病院と同じ系列であるJA長野厚生連病院の一つ、北信総合病院より赴任してまいりました。

前任地の北信総合病院は、長野市の北に位置する中野市にあり、国内有数のスキーリゾートである志賀高原の麓に位置する病院です。隣接する小布施町は、

栗と葛飾北斎の町として一年を通して観光客で賑わっており、長野

県内の他地域と同様に、観光資源に恵まれた地域です。



その魅力に惹かれ、関東の病院から異動して以来、20年以上にわたり家族とともに過ごしてきた地域でもあります。

新潟県および群馬県との県境に近い場所に位置し、地域を流れる千曲川は、新潟県に入ると信濃川と名を変え、日本海へと注いでいます。

信濃の国の広さを実感

ここ下伊那厚生病院は、北信総合病院から車で、高速道路を利用して同一県内でおよそ2時間を要する距離にあり、愛知県・岐阜県・静岡県との三県に近接した地域に位置しています。この地域の地形を形作って